

和し鍛え学ぶ

本日、第41回末野原中学校卒業式を行いました。217名の卒業生は、御来賓の皆様、保護者の皆様、後輩たちに見守られながら立派に卒業証書を受け取り、担任や級友と最後の学級の時間を過ごして、笑顔で卒業していきました。

3年前、大雨の入学式から始まった41回生の中学校生活。たくさんの楽しかったこと、それと同じくらい大変なこともあったと思います。在校生の送辞や卒業生の答辞、生徒たちの歌を聞きながら、41回生の今日までの歩みを思い起こしていました。

卒業生をこれまで温かく見守ってくださった地域の皆様、本校の教育活動を3年間温かくご支援いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。41回生の皆さん、それぞれの道で末野原中学校卒業生としての誇りを胸に煌きらめいてください。



第41回卒業式

「校長式辞」

流れる季節の真ん中で ふと日の長さを感じます
3月の風に想いを乗せて 桜のつぼみは春へと続きます

先日の素敵な「卒業生を送る会」で、後輩たちが歌ってくれた歌です。41回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本日、卒業式を挙げるにあたり、公務ご多用の中、豊田市議会議員 兵藤慎也様 窪谷文克様 豊田市教育委員会 教育長職務代理者 神原昌子様をはじめ御臨席を賜りました御来賓の皆様の高いところからではありますが心より御礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。15年間 大切に慈しみ、育ててこられたお子様の成長した姿に、喜びもひとしおのことと存じます。

中学校3年間は、子どもから大人へと変化していく「激動の3年間」です。思春期真ただ中のお子様は、時に悩み、立ち止まったり、成長の道のりは、決して真っすぐではなかったと思います。

そんな中で、大切なわが子にどう声をかけようか悩まれたり、心を痛めながら見守ることしかできない苦しさがあったりと、葛藤しながら懸命にお子様に寄り添われた3年間だったと思います。



今日、このように立派に卒業を迎えられたのは、ひとえに保護者の皆様の限りない愛情の賜物だと思います。大切なお子様を本校に預けてくださり、保護者の皆様とともに関わらせていただけたことを、本校職員一同、幸せに感じております。3年間温かいご支援をいただいたことに深く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん。皆さんは、令和5年4月、真新しい制服に身を包んで末野原中学校の門をくぐりました。1年生。すべてが新鮮で、夢中で過ごした1年だったことでしょう。

2年生の職場体験では、働くことの大変さを感じ、また、部活動では、引退する先輩から託されたバトンの重さをひしひしと感じたことでしょう。乗鞍での自然教室。お家の方の手紙に、自分がどれだけ深い愛情を注がれて成長してきたか、改めて感じたことでしょう。手紙を読む横顔、涙をぬぐう手、じっと動かない背中を昨日のこのように思い出します。

そして迎えた最高学年。

6月、修学旅行。降り続く雨の中、誰ひとり愚痴を言わず、笑顔で仲間との時間を楽しむ姿に、「気持ちのいい子たちだな」と感じました。一緒に修学旅行に行けて嬉しかったです。

部活動。最後の大会。あきらめない姿、心を一つに奏でた音。皆さんは後輩の良き手本でした。仲間との絆は一生の宝物になることでしょう。



9月、合唱コンクール。最高学年にふさわしいクラス合唱。みんなで手をつなぎ、体育館に歌声が広がった学年合唱。皆さんの歌は、未中の伝統となって後輩に受け継がれていきます。

そして10月、最後の体育祭。伝統の末中ソーラン『気炎万丈』（きえんばんじょう）。連日の真剣な練習。校長室まで響いてきた声。予行練習の演技を真剣に見つめる2年生、圧倒された表情の1年生。本番の演技とともに、その情景が心によみがえります。



4 1回生の学年スローガンは「煌(きらめ)き」

3年前の4月7日、入学式の日、学年主任が発行した、「煌～第1号」に、こう書かれています。「煌きという言葉には、今まで気づけなかった自分の長所や強みを知り、自分自身を煌(きらめ)かせる素敵な生徒になってほしいという思いをこめました」。それが、三年間、皆さんを支えた学年主任、そして、たくさんの先生たちの願いでした。



「煌き」

海がキラキラ煌くのは、そこに光があるからで、波や風が動くからです。止まっているところに煌きは生まれません。ダイヤモンドが煌くのは、石の中に入った光が多数の面によって跳ね返され、屈折を繰り返して進むからです。

人も同じ。迷ったり、ぶつかったりしながらも一生懸命に進むことで、やがて、その人らしい、本物の煌きを身にまとうようになります。

人には、それぞれの煌きがあり、歩む道に正解はありません。けれど、人としての正解はあるのではないのでしょうか。優しさ、一生懸命、自分や周りを大切にする生き方。自分の命を、どう生かし、どう生きていくのか。皆さんに課せられた、終わりのない宿題です。

がんばれ 負けないで そんな声が聞こえてくる
ほんとに強い気持ち やさしさを教えてくれた
大切なものに 気づかない僕がいた
今 胸の中にある 温かいこの気持ち 「大切なもの」を

入学以来、皆さんに様々な話をしてきましたが、これで最後です。

素敵なきらめきを残して卒業する41回生の皆さん、今日まで学校を引っ張ってくれて本当にありがとう。胸を張って前に進んでください。ご卒業おめでとうございます。

令和8年3月6日

末野原中学校長 平井千夏

